

第2期

北海道ベースドラニングプログラム

課題解決の発表

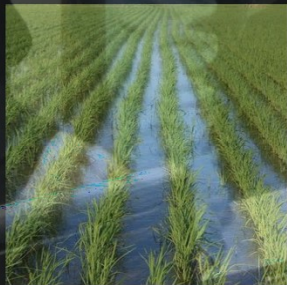
令和元年9月10日(火) 14時 ~ 16時

場所: イオン旭川西 3階 ザ・クロックハウス様前



液肥の使用測定装置の開発

農業の未習熟者でも、水耕栽培の肥料をどのくらい使用したかわかる計器を開発。



水田の水位センサーの開発

LPWAを使ったIoTのセンサー装置を作成。安価でみんなが使いやすい機材です。



アライグマ追尾システムの開発

アライグマの北海道における生態を探るツールを作成。害獣駆除に繋がります。



北海道の観光資源の発掘

産官連携で北海道の見所を調査し、ホームページの立ち上げ。各方面からの評価をまとめました。



滑り止め砂回収装置の開発

雪の滑り止め砂を効率よく、手軽に回収する装置を作成。道路の安全と環境保全に繋がります。

地域産業をけん引する工学系人材を育成



校長 高橋 薫

旭川高専は実践に沿った学習を目指し、実験・実習・演習を重視しています。北海道ベースドラニングプログラムは課題を自ら発見し、その課題の解決する能力を向上させます。

外部情報の学習と4工学科の横断から、新しい価値を創造する。

- ・最先端技術IoTを活用して、農業課題を解決
- ・産官学連携を利用して、北海道の資源を発掘
- ・学内の工場を使用して、試作品を作成

☎ 0166 (55) 8103

✉ s_somu@asahikwa-nct.ac.jp 🌐 www.asahikawa-nct.ac.jp